

# ソーシャルインパクトボンド

---

～ 新しい官民連携の形 ～

## 指導担当

情報システム課長 船村 通広

## アドバイザー

情報システム課 前田 泰伸

## メンバー

健康づくり課	小間	裕太
農業振興課	岩田	雅弘
公共建築課	森野	敏充
議事政策課	小林	健

# CONTENTS

## ■ CHAPTER 1

秦野市の現状と提案までの経緯

## ■ CHAPTER 2

ソーシャルインパクトボンドとは何か？

## ■ CHAPTER 3

就労支援のSocial Impact Bond ➡ 政策提案

## ■ CHAPTER 4

まとめ

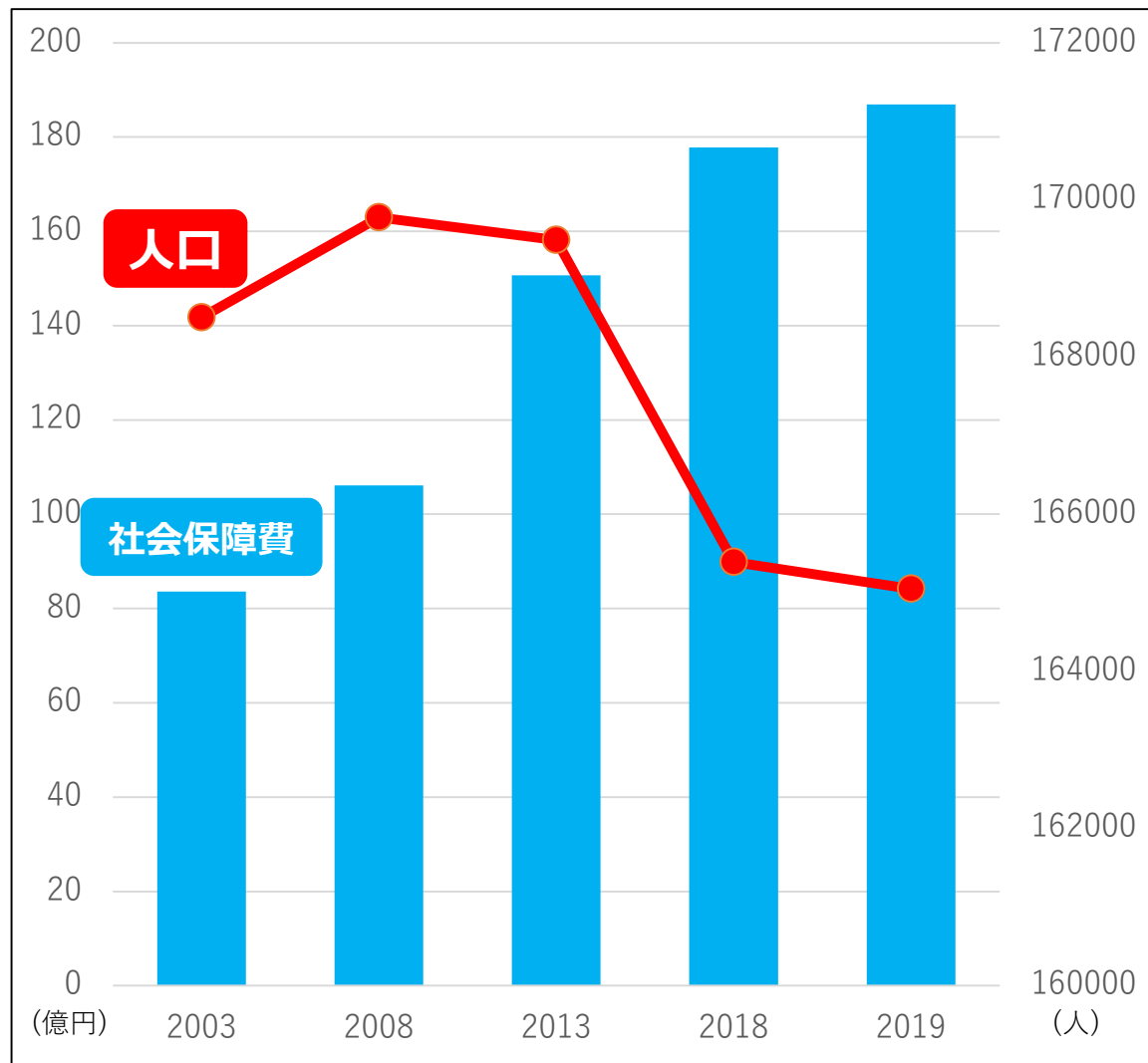
## CHAPTER 1

# 秦野市の現状と提案までの経緯

---

# CHAPTER1 秦野市の現状と提案までの経緯①

## 人口と社会保障費の推移



出典：統計はだの

### 2030年 高齢化率

➔ 33.3% (推計)

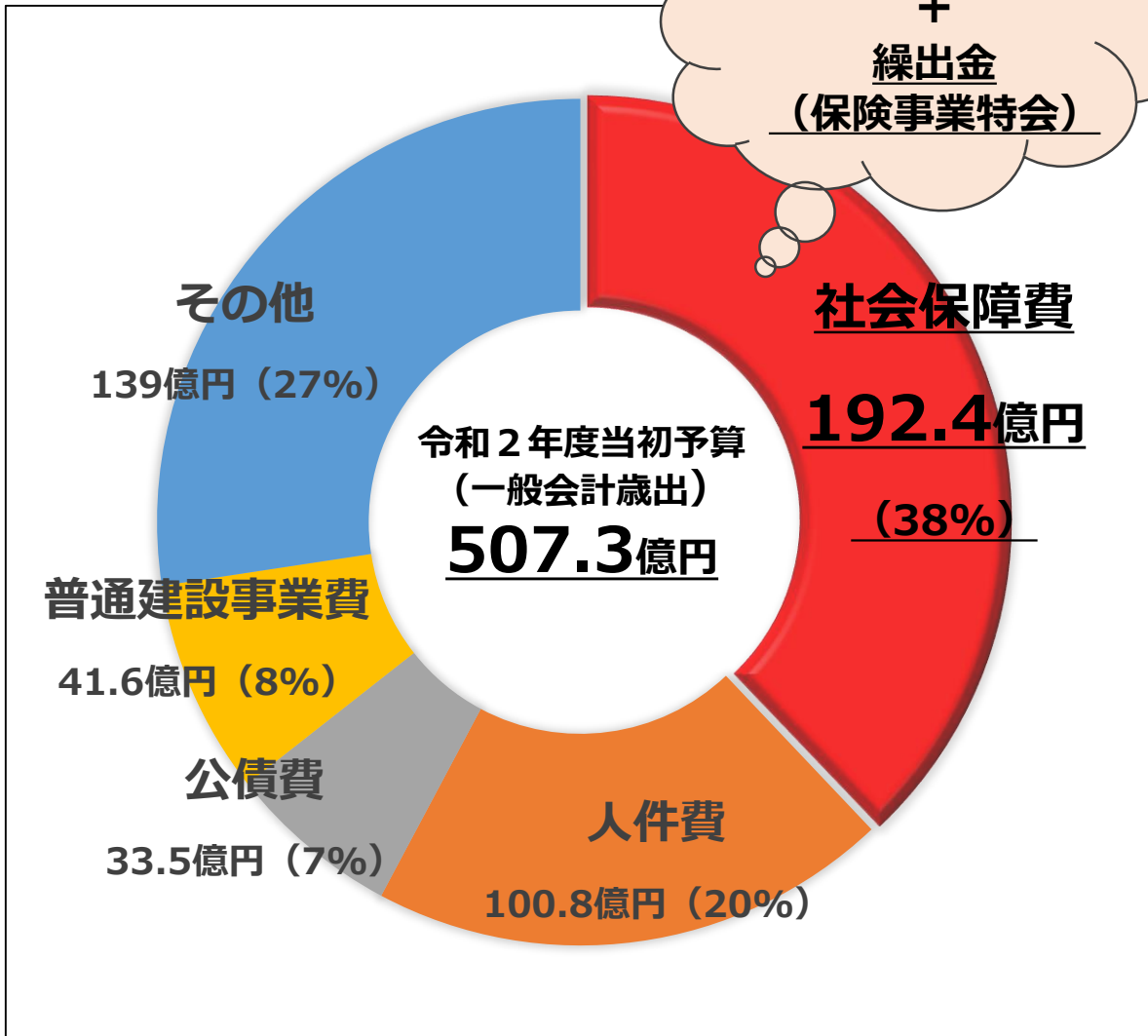
※ R2.11.30 政策部長通知

### 社会保障費 H15からの増加率

➔ 123.5% (約2.2倍)

# CHAPTER1 秦野市の現状と提案までの経緯②

## 歳出予算の内訳



### ■ 社会保障費の特徴

- ① 巨大な領域 (歳出の約40%)
- ② 増え続けている

➡ 「固定費」が膨らんでいる

## CHAPTER1 秦野市の現状と提案までの経緯③

### 社会保障費は何に使われているか

要介護状態  
なった後

(介護保険)

病気  
なった後

(医療保険)

収入  
無くなった後

(生活保護費)

本来、課題が顕在化・深刻化する前の適切なサービス提供が効果的

⇔ 固定費割合が高く、政策経費の捻出が困難

# ソーシャルインパクトボンド

**S**ocial **I**mpact **B**ond

「成果報酬型支払い＋社会的投資」

新たな官民連携の形

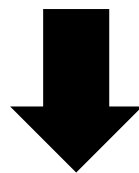
## CHAPTER 2

# **S**ocial **I**mpact **B**ondとは何か？

---



## 行政が抱える課題を民間と連携して解決



**民間資金を活用して、革新的な社会課題解決型の事業を実施し、その事業成果（コスト削減分）を支払いの原資とすることを旨とする。**

## CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

### SIBの一般的な仕組み

行政

SIB  
運営組織

投資家

⋮

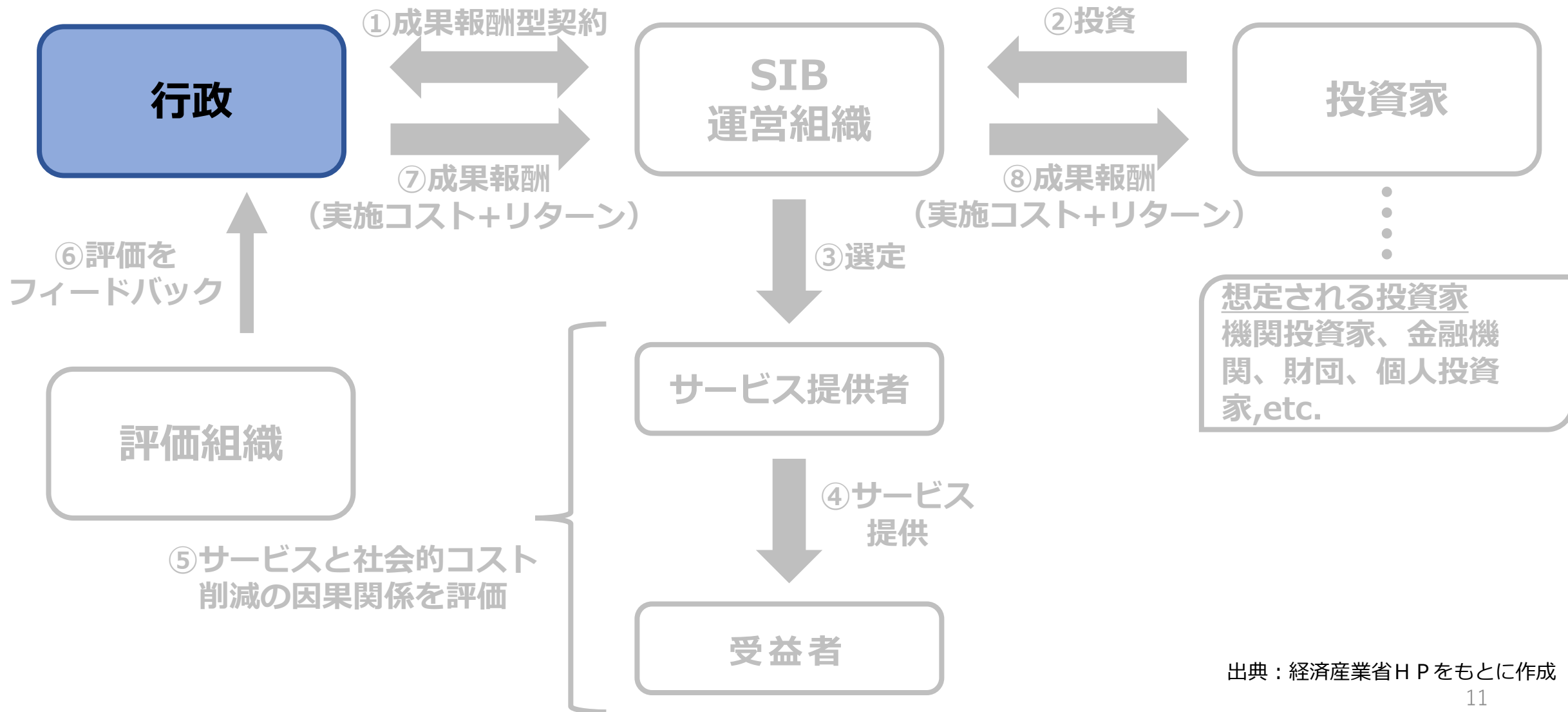
評価組織

サービス提供者

想定される投資家  
機関投資家、金融機関、財団、個人投資家,etc.

# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

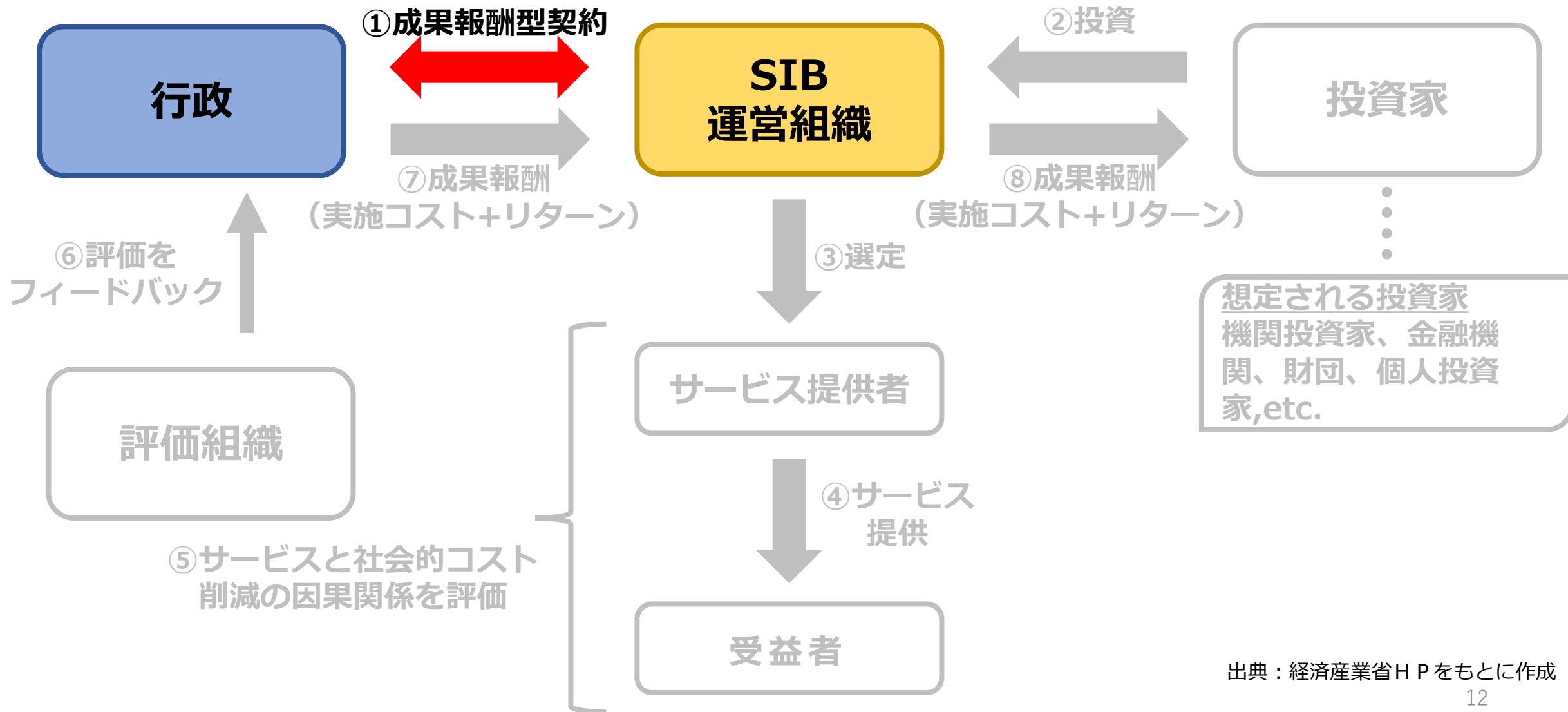
## SIBの一般的な仕組み



出典：経済産業省HPをもとに作成

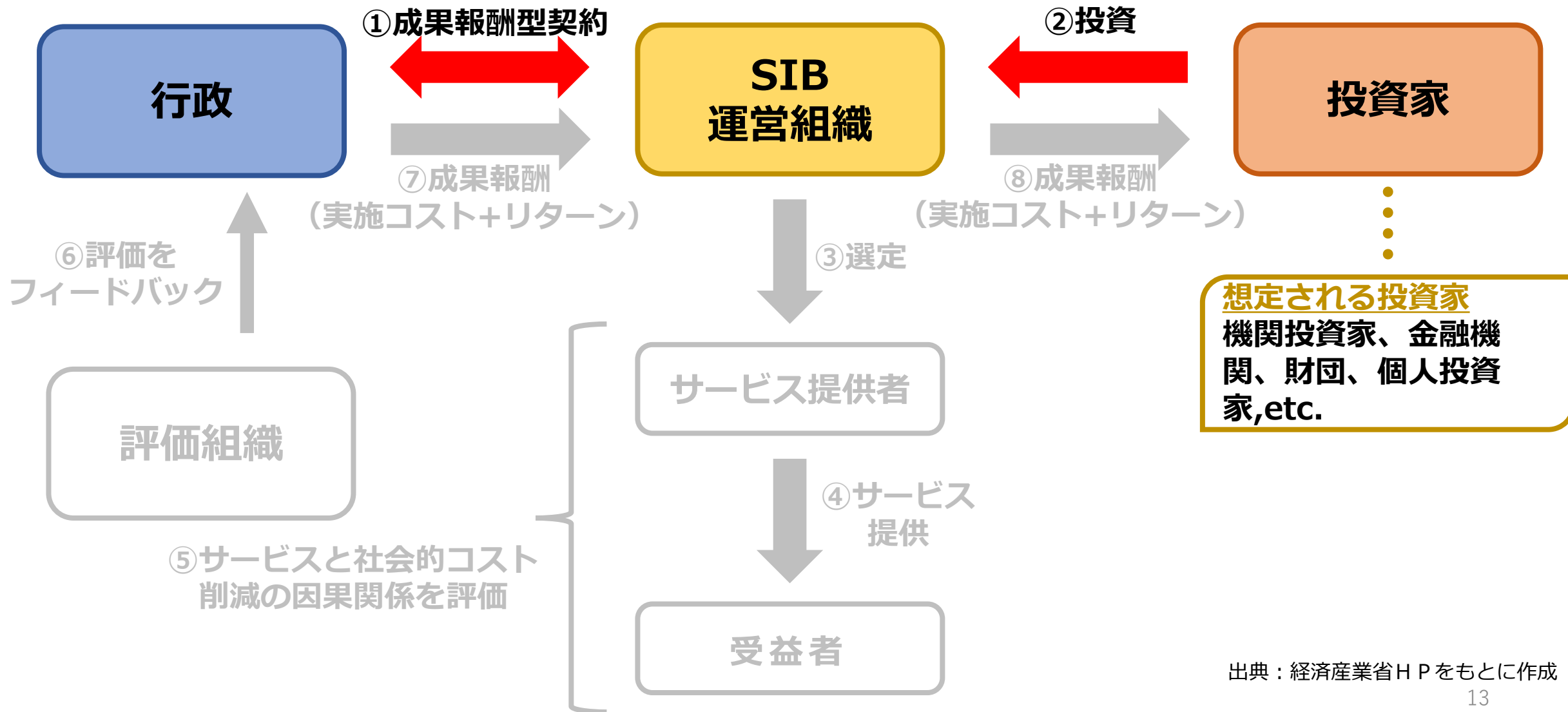
# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

## SIBの一般的な仕組み



# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

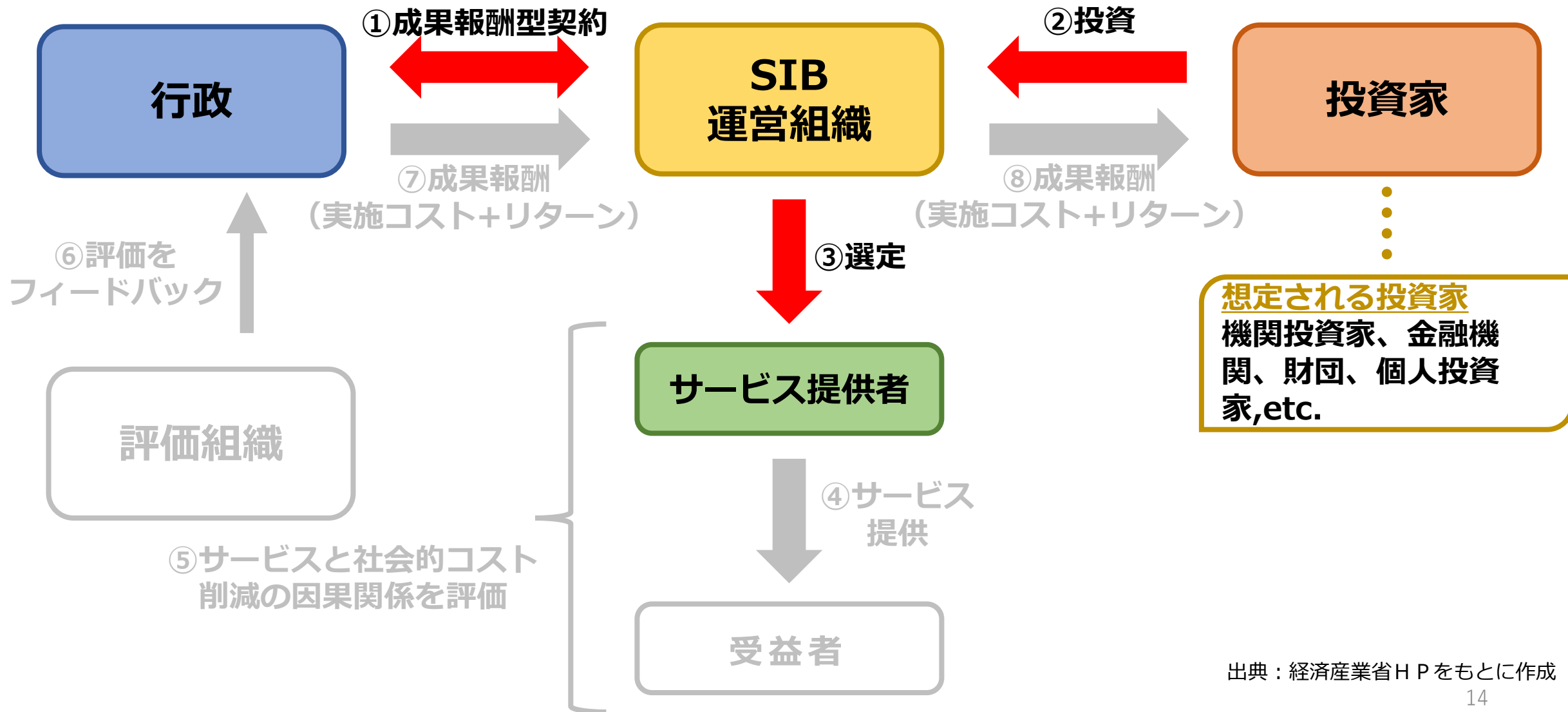
## SIBの一般的な仕組み



出典：経済産業省HPをもとに作成

# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

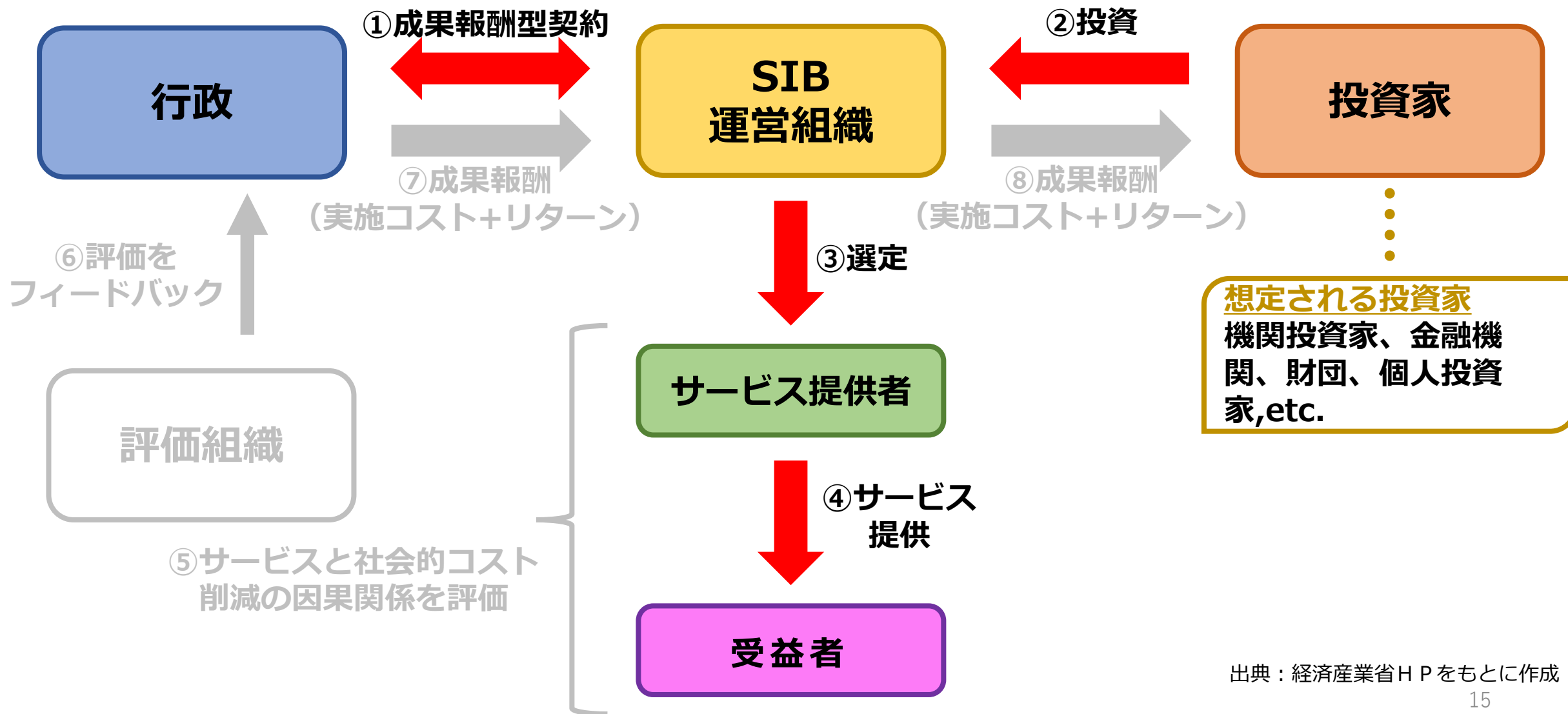
## SIBの一般的な仕組み



出典：経済産業省HPをもとに作成

# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

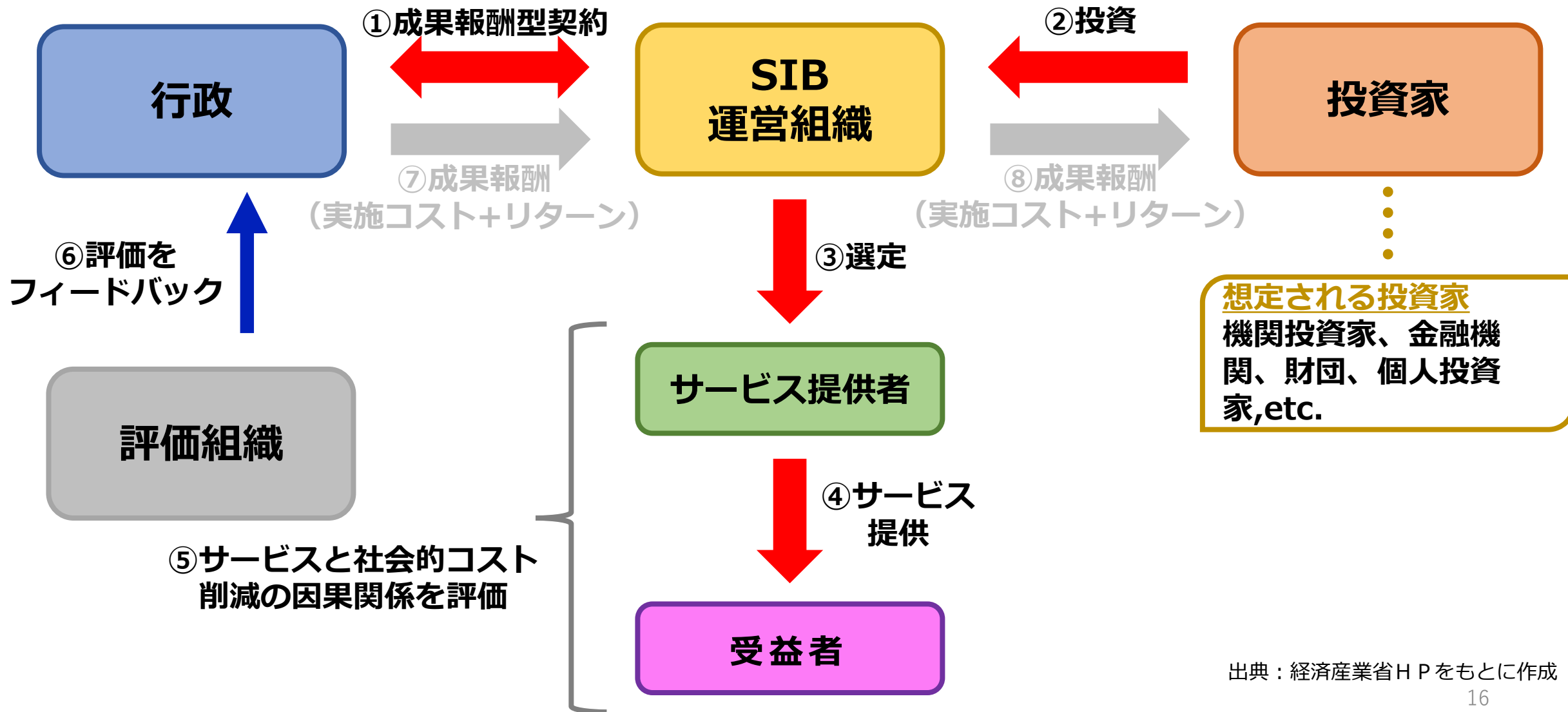
## SIBの一般的な仕組み



出典：経済産業省HPをもとに作成

# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

## SIBの一般的な仕組み

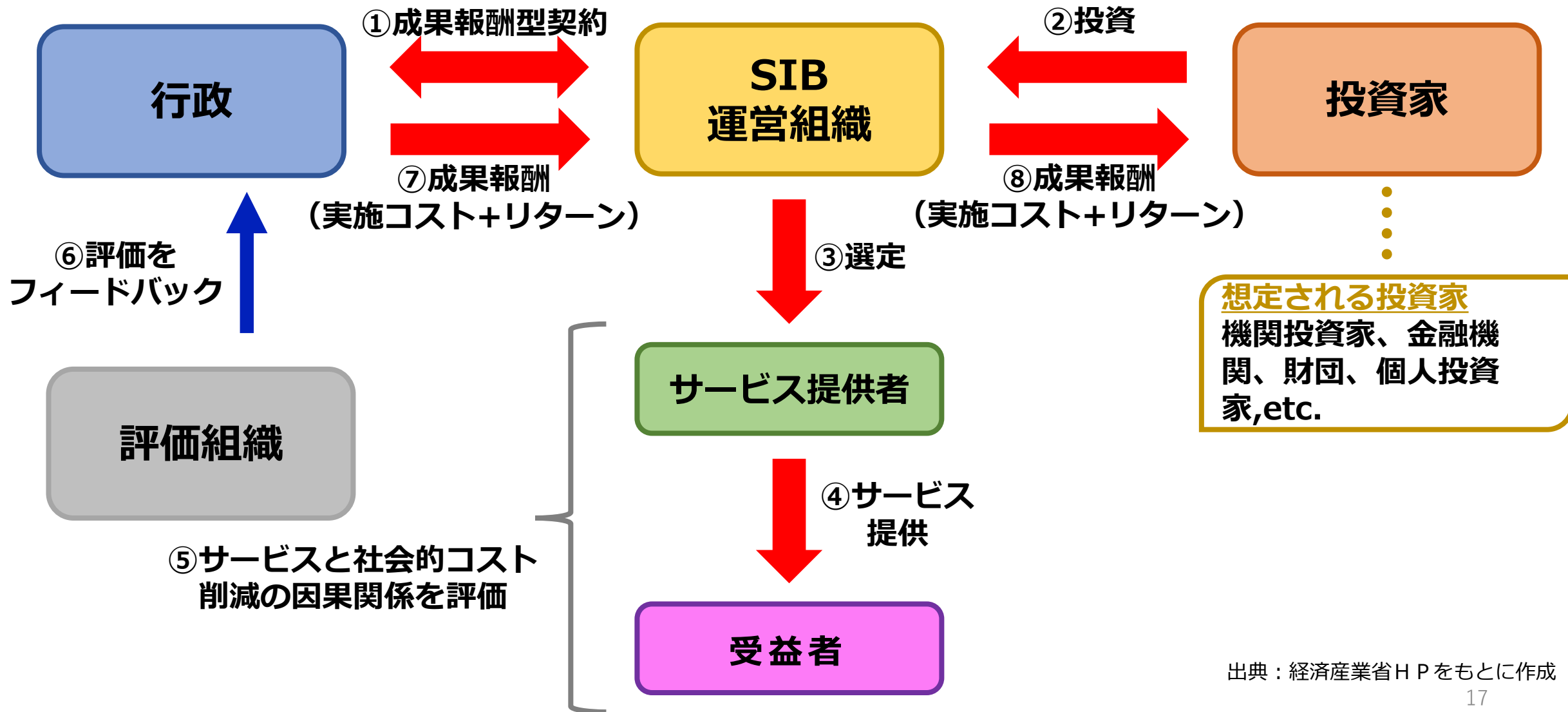


出典：経済産業省HPをもとに作成



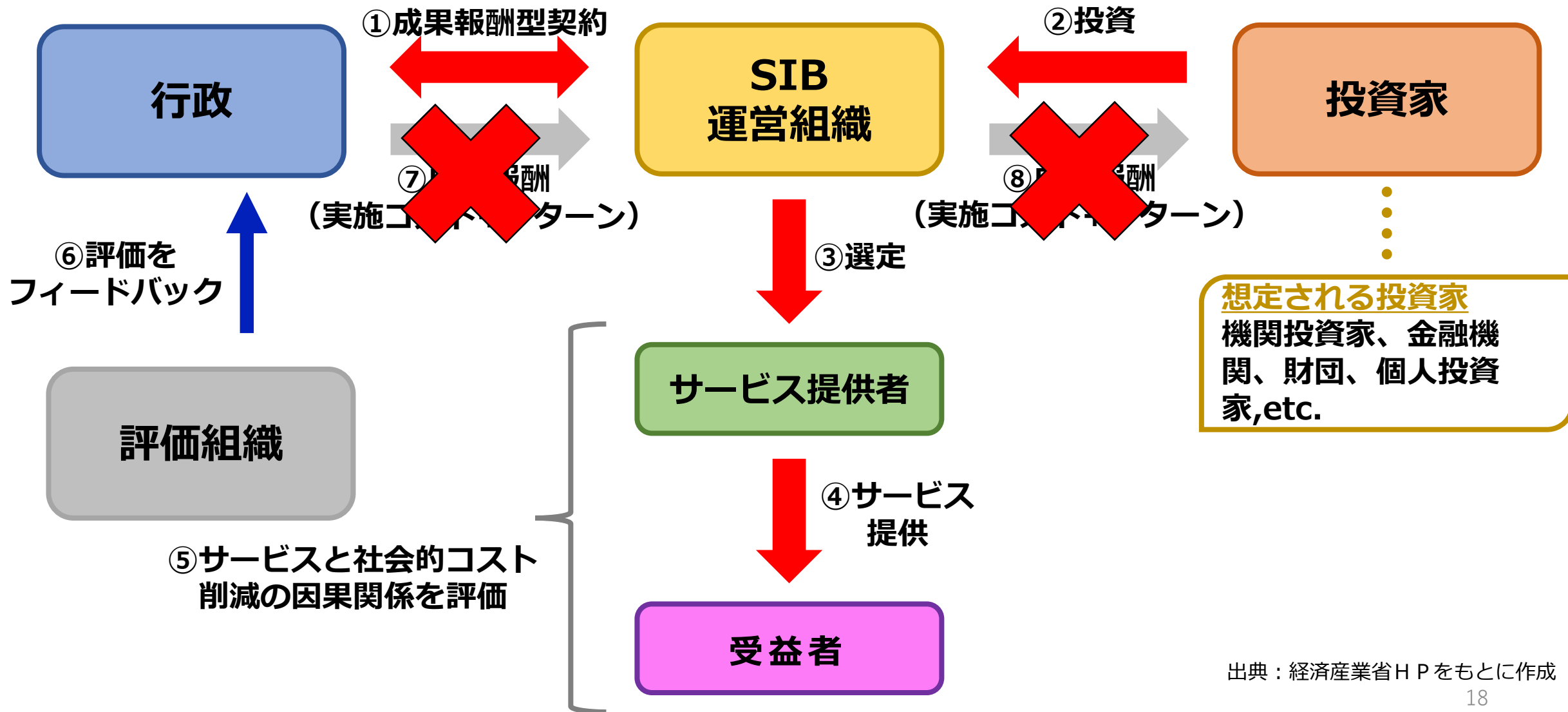
# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

## SIBの一般的な仕組み



# CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か②

## SIBの一般的な仕組み



## CHAPTER2 ソーシャルインパクトボンドとは何か③

### SIBのメリット

コスト削減

リスク軽減

行政

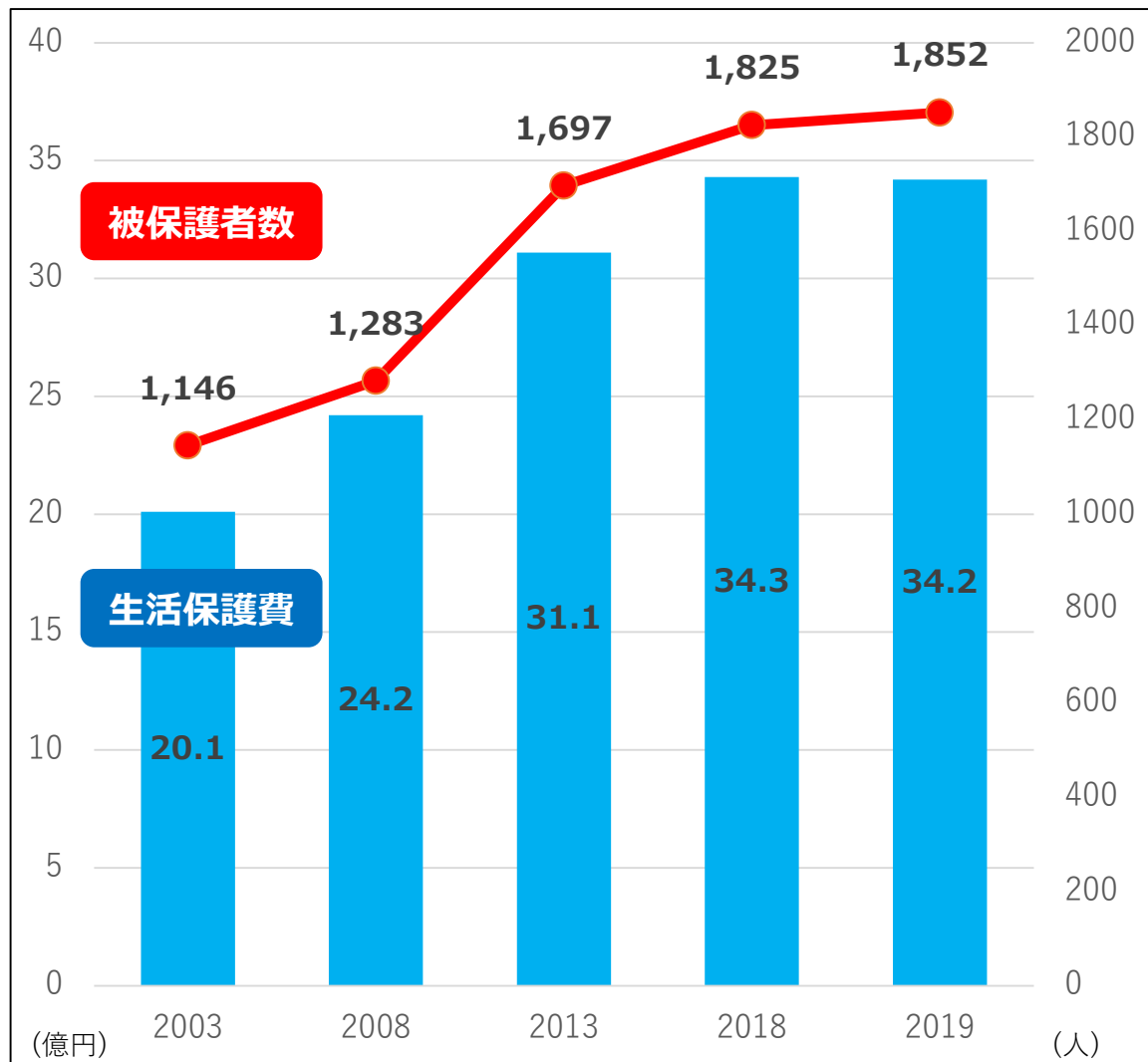
# 政策提案

## 就労支援のSIB

---

# CHAPTER3 就労支援のSIB①

## 生活保護の状況



出典：統計はだの  
令和元年度決算資料

■ 1人あたりの生活保護費

➔ 185万円 ※ 国支出金含む

■ 就労等で100人の保護廃止

➔ △1億8500万円の効果

## CHAPTER3 就労支援のSIB②

### 秦野市の就労支援事業

#### 生活困窮者

就労（準備）支援  
自立支援

#### 高齢者

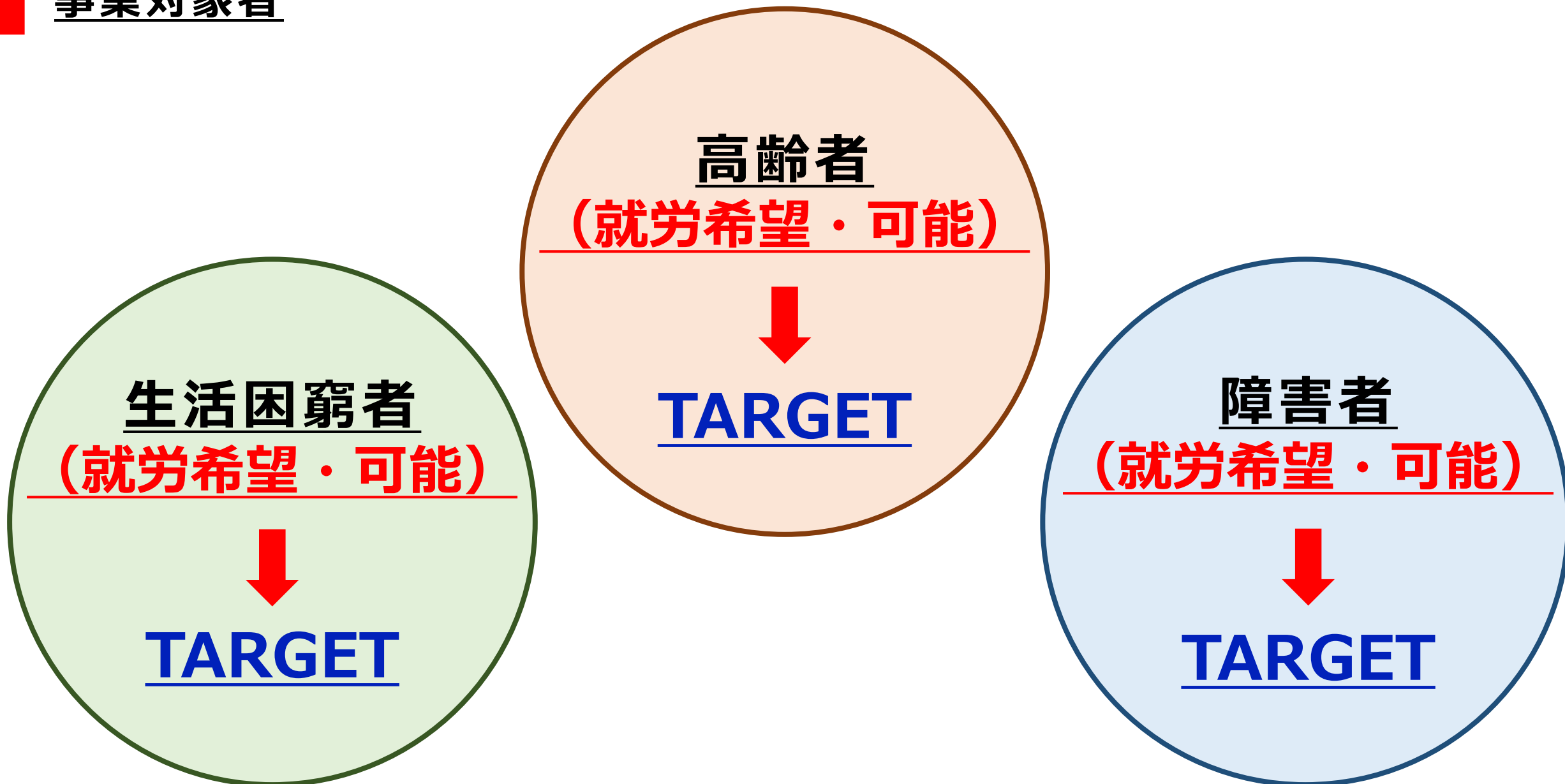
ふるさとハローワーク  
就職支援カウンセリング  
シルバー人材センター

#### 障害者

移行・継続・定着支援

# CHAPTER3 就労支援のSIB③

## 事業対象者



## CHAPTER3 就労支援のSIB④

### 就労支援のSIB（提案事業概要）

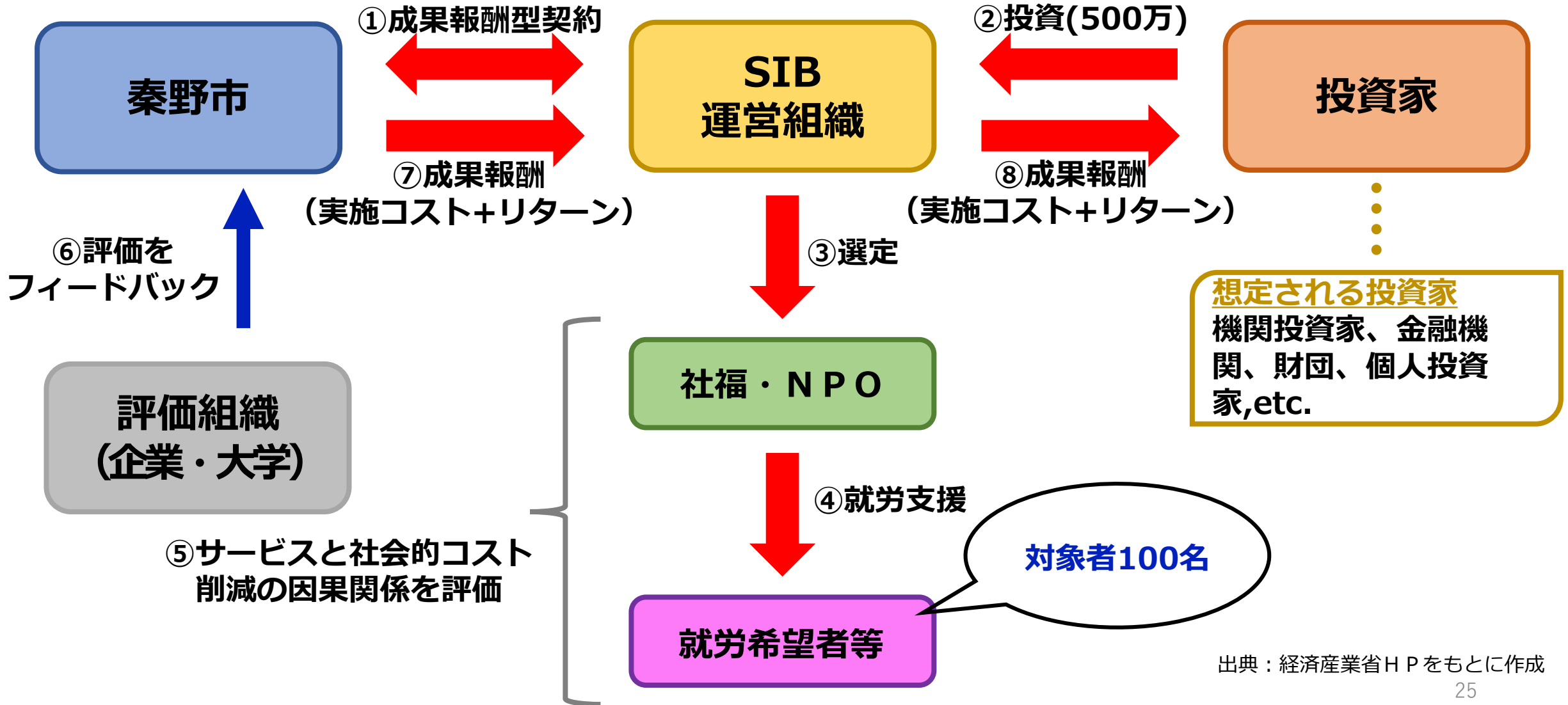
- 1. 事業対象**            **100名（就労希望・可能者）**
- 2. 事業費**             **5,000,000円（支援員2名を想定）**
- 3. 達成目標**         **50名の就労**
- 4. 便益設定**         **事業を実施しない場合、生活困窮者等が生活保護受給者となると仮定。  
事業を実施し、就職することで生活保護受給者になることを防いだ効果額（将来コスト削減分）を便益に設定。**

※ 1～3の数値は、生活保護受給者に対する現状の就労支援事業の額等を元に設定



# CHAPTER3 就労支援のSIB⑤

## 就労支援のSIB（提案モデル）



## CHAPTER3 就労支援のSIB⑥

### 就労支援のSIB（成果シミュレーション）

1. 期待成果 50名の就労（支援対象者総数100名）
2. 事業費 5,000,000円（支援員2名を想定）
3. 投資家リターン 2,115,000円（投資利回り5%）
4. 行政コスト削減額 **6,345,000円**

【参考】 便益の算出

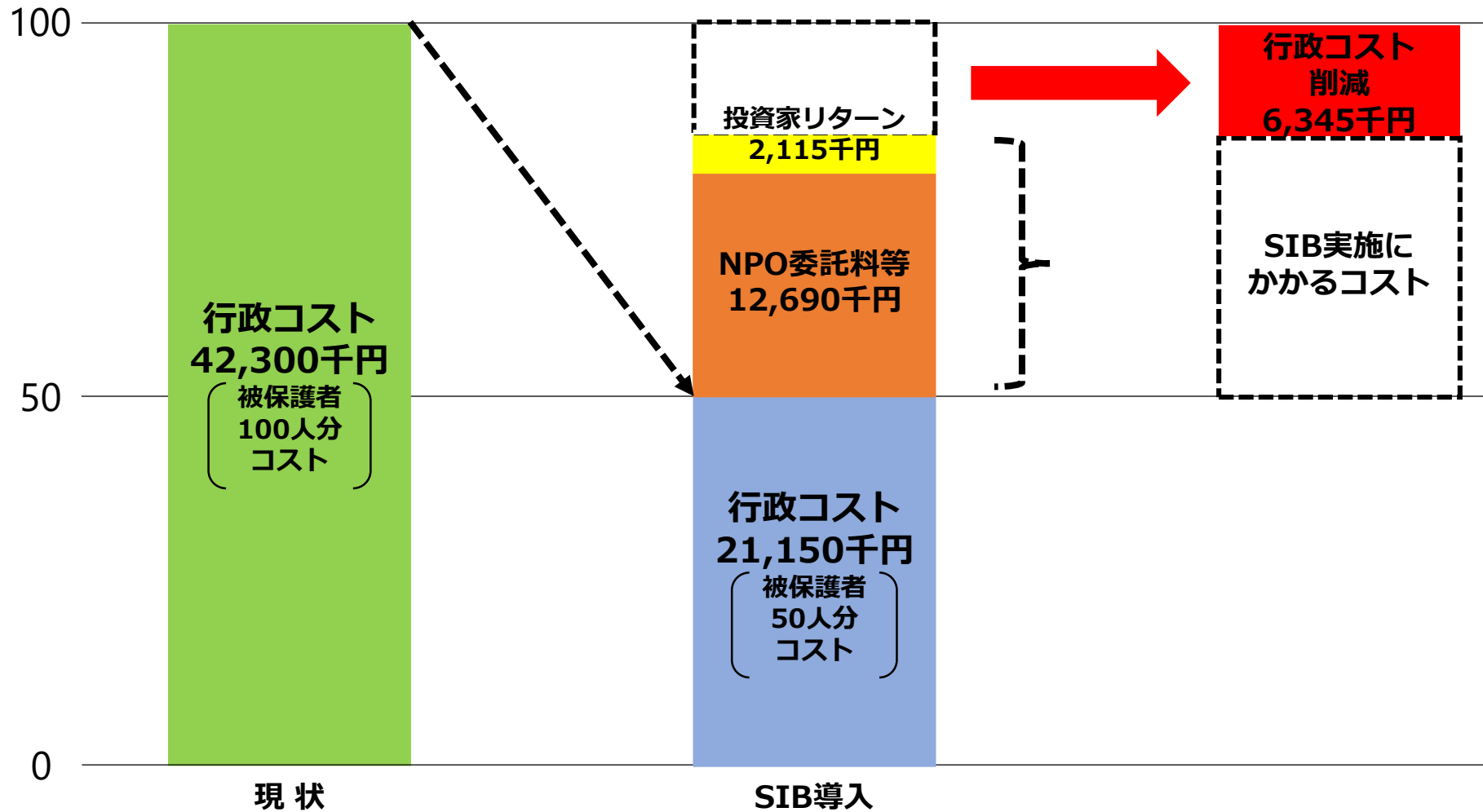
項目	年市負担額/人 (A)	便益 (A) × 50
生活保護費	360,000円	18,000,000円
職員人件費	63,000円	3,150,000円
合計	<b><u>423,000円</u></b>	<b><u>21,150,000円</u></b>

※ 保護費120,000円/月、職員年収504万円で算定。

※ 職員1名あたり80世帯を受け持つと想定。

# CHAPTER3 就労支援のSIB⑦

## 事業成果によるコスト削減イメージ



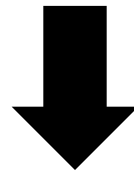
## CHAPTER 4

# まとめ+

## CHAPTER4 まとめ①

### 提案経緯

- ✓ 人口減少・少子高齢化により社会保障費の増加が課題
- ✓ 社会保障費の多くが事後的な「費用」として支出されている
- ✓ 予防的事業が効果的でも固定費割合が高く財源確保が困難

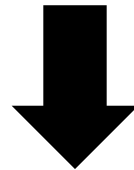


ソーシャルインパクトボンド

## CHAPTER4 まとめ②

### 政策提案

- ✓ SIBを活用した就労支援の実施
- ✓ 期待効果は、50名の就労。
- ✓ 投資家に対しては、5%の投資利回りでの配当が可能
- ✓ 行政コスト削減効果は6,345,000円が見込まれる。



**実施価値は十分にある**

## △ 「費用」 的なものに支出し続ける

---

## ○ 「投資」 的な支出を増やす

---

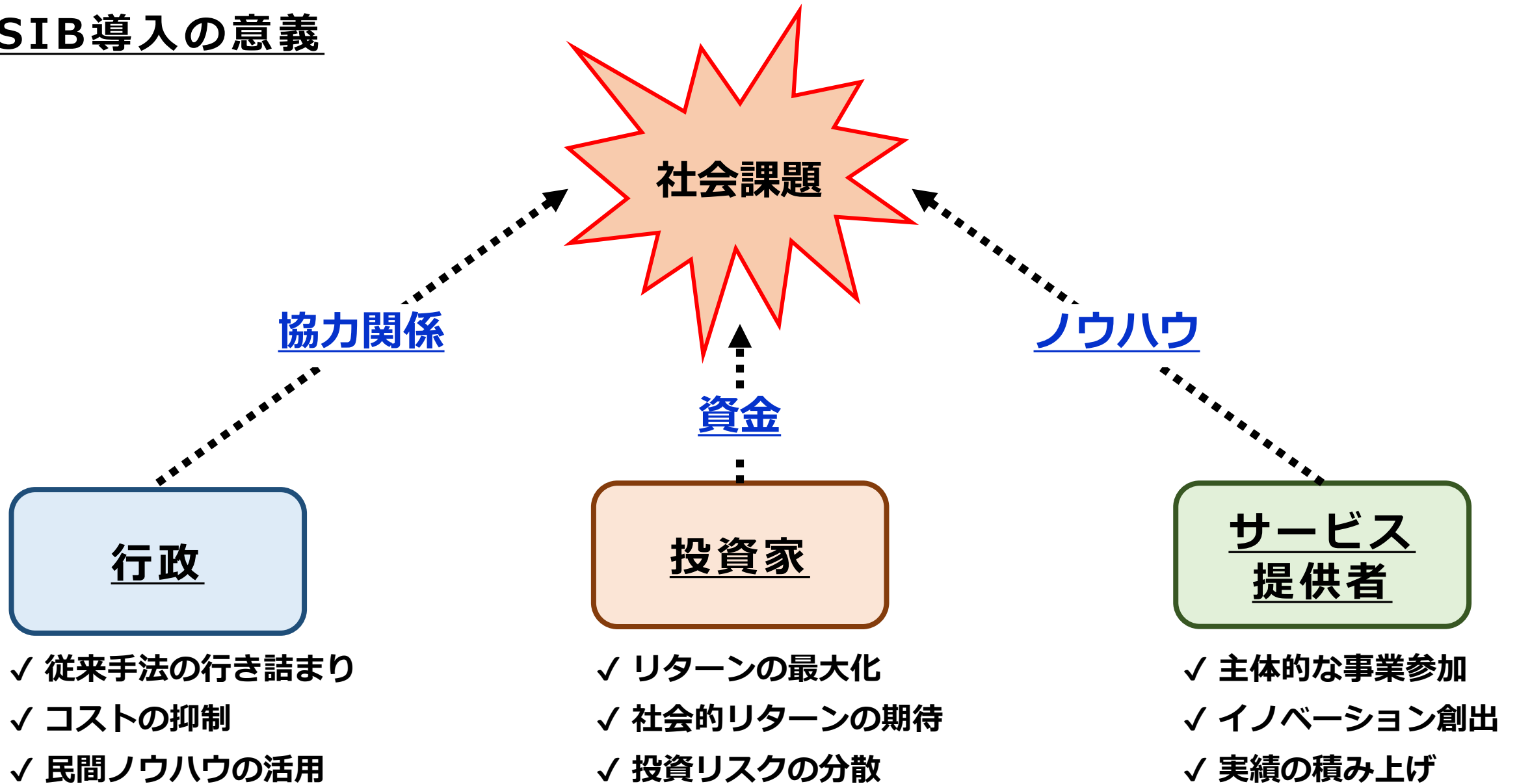
～「投資」 的な支出の例～

- ・ 健診受診勧奨 → 医療費の抑制
- ・ IoTを活用した介護予防 → 介護給付費・医療費の抑制
- ・ リカレント教育の充実 → 税収の増加

} SIB  
採用可能性

## CHAPTER4 まとめ+②

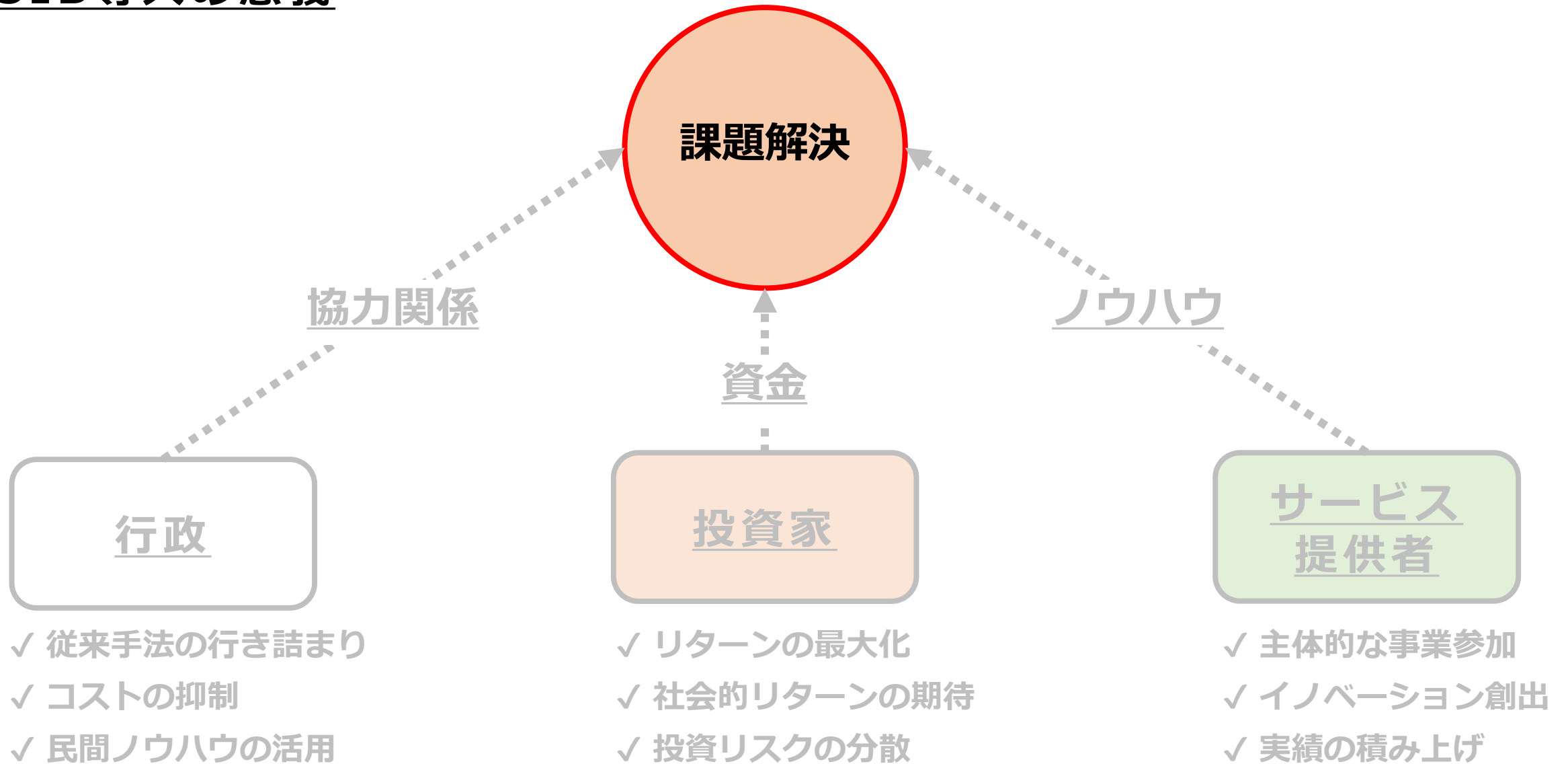
### SIB導入の意義





## CHAPTER4 まとめ+②

### SIB導入の意義



A night cityscape with a glowing blue network sphere overlay. The sphere is composed of interconnected nodes and lines, resembling a globe or a data network. The city lights are visible in the background, and the overall color scheme is dominated by dark blues and bright whites.

ご清聴ありがとうございました